



会 長	小林 幹夫	青少年奉仕	橋本八右衛門
副 会 長	道尻 誠助	幹 事	正部家光彦
クラブ奉仕		会 計	佐々木泰宏
会長エレクト	紺野 広	会場監督	峯 正一
職業奉仕	妻神 和憲	直前会長	小井田和哉
社会奉仕	地代所久恭	副 幹 事	松本 剛典
国際奉仕	中村 稔彦	会計補佐	山村 和芳

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX (43) 0661	
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	峯 正一	同副委員長	荒谷 達也
同 委 員	廣田 茂	同 委 員	道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ  
**イマジン ロータリー** **ロータリーの力を信じよう!**

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹 夫

## 7 月 は 新 会 員 の た め の 月 間 で す

### 第 3 2 3 4 回 例 会 2 0 2 2 . 7 . 1 3

▶ ビジター 南グループガバナー補佐  
久保隆明さん (八戸北)

久保隆明南グループガバナー補佐:



今年度ガバナー補佐となりました。所属は八戸北ロータリークラブで、職業分類は司法書士です。ロータリー経験不足ですので、お気づきの点などありましたらご指導いただければと思いますので、よろしくお願い致します。

今年度RI会長はジェニファー・ジョーンズさんという国際ロータリーで初めての女性会長です。RIテーマは「Imagine Rotary」、2830地区ガバナーはむつロータリーの田中常浩さん、今年度のスローガンは「ロータリアンの思いをつなぐ」です。

先日地区要覧が配られたと思いますが、そちらに9つの地区目標が掲げられています。達成できそうなものがあればぜひチャレンジしていただければと思います。またミラクル1200も継続中です。会員増強はさることながら退会防止に力を入れているクラブもたくさんあります。ぜひ退会防止も力を入れていた

だければと思います。コロナでどこのクラブも運営が難しい状況下ではありますが、クラブが皆様の拠り所になれば退会防止につながるのかなと思っています。

来週、八戸クラブさんは公式訪問を迎えます。わたしもぜひお伺いさせていただきます。先の話ですが、来年2月11日にIMを企画しています。八戸北クラブでは今年地区補助金で子ども食堂への支援をしますが、それにちなんだ講師をお呼びしてIMを開きたいと、目下企画中ですので、ぜひご予約を空けておいていただきたいと思います。

ガバナー補佐はグループと地区をつなぐことが役割とされていますので、何かありましたら何なりとお電話をいただければと思います。1年間どうぞよろしくお願い致します。

#### 会 長 要 件 小林 幹夫 会長



先週は今年度の会長方針をお話しさせていただきました。きょうはロータリークラブの始まりについてお話しさせていただきます。ロータリー歴

の長い方ほどそういった話は耳にタコができるほど聞いているかと思いますが、何事にも始まりがあることだけは伝えたいと思っています。そうすれば改めて新しいことを知るのではないかと、R I会長の言っているように過去を知ることによって未来がイメージできるのではないかと思います。

ポール・ハリスがロータリークラブを作ったのが1905年2月です。和暦では明治38年です。その前年の1904年から日露戦争をやっています。1905年に日露の戦争講和条約ポーツマス条約が締結され、樺太の一部を日本が領土として占領することになりました。そう考えると現在の世の中と100年以上前の世の中があまり変わらないのではと思うのはわたしだけでしょうか。一方ではわれわれのように友愛を奉仕の精神を実践しようということをしてはいますが、他方では正反対の戦争が発生する。われわれの目指すべきところはこういうことを見ることで改めて認識できると共に、コロナという感染症が拡大していますが、いつロケットが落ちてくるか分からないという環境ではないことに改めて感謝する次第です。

## 幹事報告 正部家光彦 幹事



○来週のガバナー公式訪問の日程と皆様へのお願い

7月20日(水)

10:00~ 会長幹事面談

11:00~12:00 クラブ協議会

出席対象者：理事・役員・各委員長・入会2年以内の新会員

12:30~ 公式訪問例会

出席対象者：全会員

\*服装は上着、バッチ着用 ネクタイはクールビズでよい。

## 委員会報告

親睦・会場委員会

増田 敏委員

○ニコニコボックスの報告

・奥様誕生祝 鶴飼寿栄さん



小林幹夫さん 久保ガバナー補佐、よろしくお願ひします。

工藤義隆さん ・小林会長のご活躍をお祈り申し上げます。

・正部家幹事には1年間たい

へんお世話になります。

夏堀礼二さん 小林会長、1年間宜しくお願ひします。

橋本八右衛門さん こんな中ではありますが夏酒よろしくお願ひします。

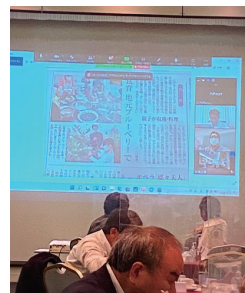
山村和芳・中村稔彦さん ニコニコデー

## 「ブルーベリーチャレンジクッキング」報告

小林幹夫会長

7月10日(日)にブルーベリー狩りを市内の幼稚園児と行いました。翌11日には東奥日報に記事を載せていただきありがとうございます。

10日は選挙の日だったので、待ち合わせも投票所になっていてじゃっかん混乱しました。東奥日報の記事を紹介します。「八戸ロータリークラブは10日、八戸市内の幼稚園に通う子どもとその親を対象とした食育活動を南郷地区で行った。7幼稚園から10組20人の親子が参加し、地元産のブルーベリーの収穫と料理を楽しんだ。参加者たちは島守地区にある農園で収穫を体験。あいにくの雨だったものの味見をしながらおいしそうなブルーベリーを探していった。引き続き南郷公民館では市食生活改善推進協議会の協力を得て、ブルーベリーを使った蒸しパン作りや牛乳寒天への飾りつけを行い、地元の食材に親しんだ。小林会長は自然に触れたり、料理をしたり、子どもたちには貴重な体験を通じてさまざまなことを考える力を身に付けた大人になって欲しいと話した。」



このような記事にいただきありがとうございます。途中でブルーベリーを採っている姿や子どもたちだけを集めてのなぞなぞ大会、メニュー

表、料理を作っているときの風景。

やり終わった後に文化幼稚園からの参加者の保護者が園長先生に感激して感想文をメールで送ってほしいので、そのメールも紹介します。「先日抽選で当ていただきました八戸ロータリークラブ様のイベント、ブルーベリー狩りとデザート作りに参加させていただきました。まずもってとてもよい思い出に残る企画でした。ブルーベリーが採れたことはもちろんですが、何より子どもたちが外で活動する笑顔、デザート作りをする一生懸命さにわたしも一緒に参加したお母さんもとても喜んでいました。また目線は変わりますが、このようなイベントが減っているためか、デザート作りをサポートしていただいた方もいい表情をされていました。感染対策はしていたもののコロナ前のような感覚でした。ロータリークラブの皆様のお陰もあり、とても充実感いっぱいの日を過ごさせていただきました。いつもいろいろとありがとうございます。」

こういった企画を8月と9月にもやろうと思っていますので、皆さんご協力のほどよろしくをお願いします。

## 委員会活動計画発表Ⅱ

### 国際奉仕委員会

### 中村稔彦委員長



国際奉仕委員会は姉妹友好クラブ委員会、ロータリー財団委員会、米山委員会の3つの委員会で構成されています。

姉妹友好クラブ委員会については昨年グローバル補助金の話もありましたが、これはなくなってしまいましたので、今年も引き続きコロナ禍の情勢を見ながらの判断ということによってやっていくことになります。特に友好クラブの能代と横手との交流も実現可能なものから実現していくしかないのかなと思っています。

ロータリー財団委員会、米山委員会の寄付活動も両委員会と連携して皆様からの寄付のご協力を得られるように活動していこうと考えています。

とにかくやれることからやるということしかならないと思います。わたし自身不慣れですが、一年間よろしくをお願いします。

### 姉妹友好クラブ委員会 渡辺 孝委員長



今年度姉妹クラブの基隆と友好クラブの能代と横手との交流活動をいかにやっていかをテーマにやっていきたいと思っています。姉妹クラブである台湾の基隆クラブとの交流は2020年八戸ロータリークラブ65周年にZoomで参加いただいています。また行き違いなどもありましたが、基隆の小学校の英語教育に関するグローバル補助金に関して、要請に協力するというのを当クラブでやっていました。コロナ以前は姉妹クラブとして交互に訪問し合う交流をしていたと聞いていましたので、そういうことが復活できないかということをこれから協議しながら、基隆とも話をしながら進めていきたいと思っています。

能代ロータリークラブについては当クラブ65周年のときに来ていただきましたし、ゴルフにも参加いただきましたので、今年度はまたゴルフを交えてこちらから積極的な活動をしていければと思っています。横手ロータリーからは先日さくらんぼをいただきました。周年記念時に交流していましたが、その後は交流が少ないためにこれから横手に関してもゴルフを考えながら積極的に交流を行えないかという働きかけをしていきたいと思っています。ゴルフがメインの委員会ですがよろしくをお願いします。

### ロータリー財団委員会 村井 達委員長



先ほど46年無欠席をいただきましたが、これもロータリーの皆様のお陰だと感謝申し上げます。

・①寄付目標は年次寄付1人150ドル、ポリオプラス1人30ドルを目標にします。今コロナやウクライナ情勢でひじょうに厳しい経済情勢で、ロータリーレートが



6月時点で127円、きのうは137円ということで日本円で払いますのでひじょうに高くつく格好になります。財団の使命は世界の健康を増進させて世界平和に向かうということですので、ぜひ皆さんご協力をお願いします。

150ドル、30ドルは目標です。目標にいかなくても5ドルでも10ドルでも大いに歓迎です。特にポリオは30ドルを目標にしていますが、実はわたし共が払い込んだものの2倍がビル&メリンダ財団から出ます。もし皆さんが30ドルを寄付していただくと90ドルになります。目標をいかになくとも、10ドルでもご寄付いただくと30ドルになります。ご理解の上、ご協力よろしくをお願いします。

・②地区補助金事業です。これは各委員会との協調を配慮し、有効な事業を選択していきたいと思っています。

・③基隆ロータリークラブ補助金事業については、先々週に小井田直前会長より話があったように、いったん中止という形になっているようです。基隆クラブからはっきりした話が全然来ておりませんので、もし来ましたら前向きに協力していきたいと思っています。従って、じゃっかん保留中という形になろうと思います。

・④ポリオワクチン接種協力。小林会長がひじょうに力を入れていることです。八戸クラブとの事業とは別ですが、国際情勢下で国際ロータリーとしての対応が明確化して参りましたら、ぜひ皆さんもご協力をお願いしたいと思います。インドになるかどうかわかりませんが、インドへ小林会長と一緒にいきたいと考えています。

基隆のグローバル補助金とポリオワクチンは世界情勢、国内情勢がひじょうにはっきりしませんので、不本意ながら計画実施の可否が不明瞭な状況です。しかし小林会長の方針が「ロータリーの力を信じよう」ですので、この言葉を信じ、新しい時代に向けて新たな親睦と奉仕の創造を胸に実施を目指して、八戸ロータリークラブの自主性を高めながら前進して参りたいと思っています。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

## 米山委員会



## 石橋敏文委員長

米山奨学金は日本以外の国籍を有する者で日本の大学、大学院または研究機関等に留学または研究のため在籍している外国人に対し、国際理解と親善に寄与することを目的とした日本のロータリー独自の国際奨学金制度を目的としています。

米山奨学金寄付には特別寄付1人10,000円、普通寄付1人3,000円を目標としています。景気低迷の折り少額でも構いませんので、全会員をお願いいたします。1年間よろしくをお願いします。

## 青少年奉仕委員会

## 橋本八右衛門委員長



青少年奉仕は青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援すること、です。ロータリーの基本理念の5つの奉仕部門の1つであり、大切な奉仕活動です。ローターアクト、インターアクトの各委員会を旗振り役に、ローターアクトクラブとインターアクトクラブとの交流、そのサポートがメインとなります。

ローターアクトクラブについては年齢制限の撤廃やスポンサークラブなしでも設立できるようになるほど方針が大きく変わりましたが、当クラブでは会員増強どころか昨年度会員が全くいなくなるという事態になりました。とにもかくにも新会員を集い、再始動を目指す形となります。現状を踏まえると会員を増やすだけではなく、存続方法も大きな課題となっています。インターアクトクラブについては滞っていた八戸工業大学第二高等学校インターアクトクラブとの交流をコロナ以前に戻しつつ、新しい形を模索しながら進めていければと考えています。

いずれにいたしましても、withコロナの状況の中の再活性化。一歩ずつ確認しながら少しでも活動、交流が進められればと考えています。将来の当クラブの活性化につながるこ

とを意識しながら、クラブ全体で盛り上げていきたいと思っておりますので、積極的なご協力をお願いいたします。

#### ローターアクト委員会 鴨澤 諭委員長



ローターアクトクラブの会員がゼロですので、新たな再スタート、再建、再出発ということで、今年度頑張りたいと思います。

ローターアクトクラブの再出発にあたり、やはり1人2人の会員だと会員になってくれた方にもやりがいがないだということということで、できれば10名程度集めた形で再出発ができればと考えています。活動の方向性、人選ですが、従来通り社会人主体で考えると当八戸ロータリークラブというだけではなかなか厳しいものがあるだろう。もし社会人主体でいくのであれば、南グループ9ロータリークラブのローターアクトクラブという形で、全クラブから協力をいただく形で会員を集めないとなかなか厳しい状況だろうというふうに思っています。

また別な考え方で、インターアクトクラブは八工大第二高校でやっていただいておりますが、八戸近隣の大学生や専門学校の方で結成できないかということも考えています。どちらの方法を取るにしろ、ある程度人数を揃えた形で再出発を図っていきたくと思っています。

その上でロータリークラブとの合同事業、また地区内ローターアクトクラブとの交流などを通じて仲間づくりをしながら、ローターアクトクラブに入って良かったと思ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。以上まったくゼロからのスタートになりますが、皆様のご協力をいただかないといけません。このまま会員ゼロが続くと消滅ということになってしまいます。ここが踏ん張りどころと思っていますので、ぜひご協力よろしくをお願いします。

#### インターアクト委員会 夏堀礼二委員長



昨年はインターアクト地区大会がオンラインでZOOMで開催されただけで、インターアクトの母体の八戸工業大学第二高等学校の太田先生もほとんどインターアクトクラブ活動をしていないとおっしゃっていました。その割に4人ほど会員が増えたという朗報があり、せっかくマンパワーがあるのだから何か活動をしていかないと、子どもたちもクラブの存在意義、活動をしていくことで社会的な経験を積んでいくことができません。

今期はコロナ禍でも可能なボランティア活動を太田先生と相談しながら、いろいろ進めていきたいと思っております。例えば屋外清掃活動などはてんでんばらばらでやっていきますので、withコロナでも可能なのではないかと考えています。そういった企画を計画した際には皆様のご協力をお願いします。

#### ロータリーの友委員会 深澤 隆委員長



去年広瀬委員長が立ち上げてくださったビブリオバトル形式での発表で考えていましたが、来月以降の実施を考えたときにこの出席人数ではちょっと厳しいのかな。あとで会長とも相談しながら、今後のことについて考えていきたいと思っております。

7月号のロータリーの友を紹介します。お手元の友をご覧ください。

表紙は新年度のジェニファー・ジョーンズ R I 会長です。1940年代くらいに活躍していた女優さんで同姓同名の方がいました。この方の人となりとして、ひじょうにメディア戦略が上手でアメリカでの P E T S の写真が多く載っています。現在55歳、カナダのウインザーのローズアイランド R C の会員です。ウインザーはデトロイト辺りのカナダの一番南の州で、仕事はメディア・ストリート・プロダクション・インスティテュートというビデオ作製会社。DVDや動画を編集して作り上げ、

企業のPRする会社の創業者兼社長のようにです。メディア戦略もひじょうに上手です。

活動報告の中では財団委員長の時には仕事上の特徴を生かして、プロゴルファーのジャック・ニコラウスとのゴルフ大会を開催して寄付金を集めるなど、かなり積極的な活動をされています。いろいろな取り組み、寄付金集め、ロータリーのPR活動は今年度は前面に来るのかなと思っています。

**横組みP5** 日本のロータリー友の会の事務局の高野さんのお話。先ほどのRI会長の戦略を経て、ロータリーの友を全世界、各地域でPRすることを含めて、去年広瀬委員長がお話されたかもしれませんが、いわゆるデジタルでロータリーの友を見られるようにすることと、アーカイブ機能で過去のロータリーの活動を検索できるようなシステムを立ち上げることになりました。その結果もあってか、今月からロータリーの友の購読料が1か月220円から270円に値上がりしました。たぶんいろいろなシステム運営や物価高の影響もあるのかと思っています。RI会長の人となりや職業についてはこの文章を読むとお判りいただけると思いますので、ぜひ皆さんお読みください。

**P20** 今年度ガバナーの横顔：全国の地区のガバナーの紹介が載っています。2830地区の田中常浩ガバナーの記事もP27で紹介されています。多種多様な職業、背景のある方が各地域でガバナーをやられていることがわかりますので、ぜひご覧ください。

**縦組み** 7月1日から順次公開。過去のロータリーの友を全部見られることになります。この辺も参考にご覧ください。実はIDとパスワードが必要です。

・ポストコロナの生命哲学 2007年大ベストセラー「生物と無生物の間」を書いた福岡伸一さんです。京大卒の農学博士ですが、分子

遺伝子生物学ということで遺伝子生物を医学的などところから生命哲学についていろいろ書かれています。頭を柔らかくして読まないといけない内容になっています。生物は常に均衡を保っている。その近郊が崩れていって年齢を重ねていきながら寿命を迎える。それは宿命であるが、それに立ち向かいつつどう生きていくかを考えていこう。「生物と無生物の間」をざっとまとめた文章ですので、お読みください。

**P9** 石川佳共子さん 今年度青森ロータリークラブ会長です。全国で100番目の女性クラブ会長。ひじょうに元気な方です。仕事は住友生命のパートを経て支店長になった方です。注目すべきは青森ラーメン協会理事。ほとんど占めるのは女性会員をいかに入れるか、入れるまでの苦労話と活動の報告が載っています。

荒谷さんは八戸に入るまで青森ロータリークラブにいらっしゃったので、どんな方が聞きましたらとても元気な方らしく、とにかく渉外係としていけいけ、という表現をされていました。どこか地区大会などでお会いできたらお話しできるかと思っています。

**P63** 投稿をお待ちしています、ということ。今回ロータリーの友の委員長になって気づきました。先ほど小林会長がお話したような、ああいった地区での取り組みなどを東奥日報が記事にしてくれているので、それを活動後1か月以内を目途に150字以内で納めていけば投稿できると思います。ぜひ会長、投稿できないでしょうか。記念写真ではなく活動がわかるような写真と活動後1か月以内に150文字程度で送るとロータリーの友に掲載していただけるそうですので、ぜひご検討いただければと思っています。

来週のガバナー公式訪問までに一度お目通しいただければと思います。